

|       |  |
|-------|--|
| 課題名   | 13. キウイフルーツ花粉の短期貯蔵法  |
| 成果の要約 | <p>花粉を精選したらできるだけ短期間の中に人工授粉に使用することが重要であるが、雌花の開花期間は約1週間と幅があること、雨天の場合は人工授粉ができないことなどから短期間の貯蔵を行わなければならない場合も生じてくる。そこで短期貯蔵の方法について検討した。</p> <p>開花直後のマチュアの雄花を採取し、常法により純花粉を得た。この花粉を使用し、貯蔵形態及び貯蔵温度の違う8処理区を設け、貯蔵開始10日後まで2日毎に花粉の発芽率を調査した。</p> <p>(1) 増量剤を混入した区は貯蔵開始後から急激に発芽率が低下し、6日後には発芽がまったく見られなかった。</p> <p>(2) 貯蔵温度では-30℃と5℃に発芽率の差はみられず、10日後でも70%以上の発芽率が得られた。25℃と常温で貯蔵した花粉も比較的健全であったが、低温貯蔵の花粉に比べ発芽率は劣った。</p> <p>(3) 以上の結果から、花粉の短期貯蔵は純花粉の状態、5℃以下の低温で行うことが望ましい。</p> |
| 成績概要  |  |

